



# Wagbyクラウド on AWS



株式会社パルシス  
 **PALSYS**

# Wagbyクラウド on AWSとは

- ▶ Wagbyで開発したアプリケーションをAWS(アマゾン ウェブ サービス)上で運用するサービスです。
- ▶ 開発したwagbyappはWagby Designerの機能を使い、Wagbyクラウドサーバへすぐにアップロードして使用することができます。
- ▶ システムの内製化+リリース、運用までも内製化できますので、低コストでシステムの導入・運用が可能です。

Wagby

powered by  
amazon  
web services



# Wagbyクラウド利用イメージ 1/4

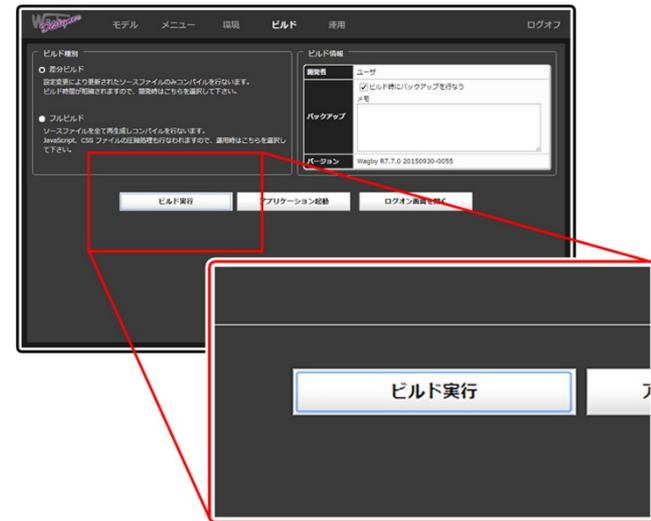
お客様環境



## ① WagbyDesignerで開発

- ・データベースなど環境情報を入力
- ・画面に表示される情報等を入力

↓  
リポジトリ(設計情報)が完成



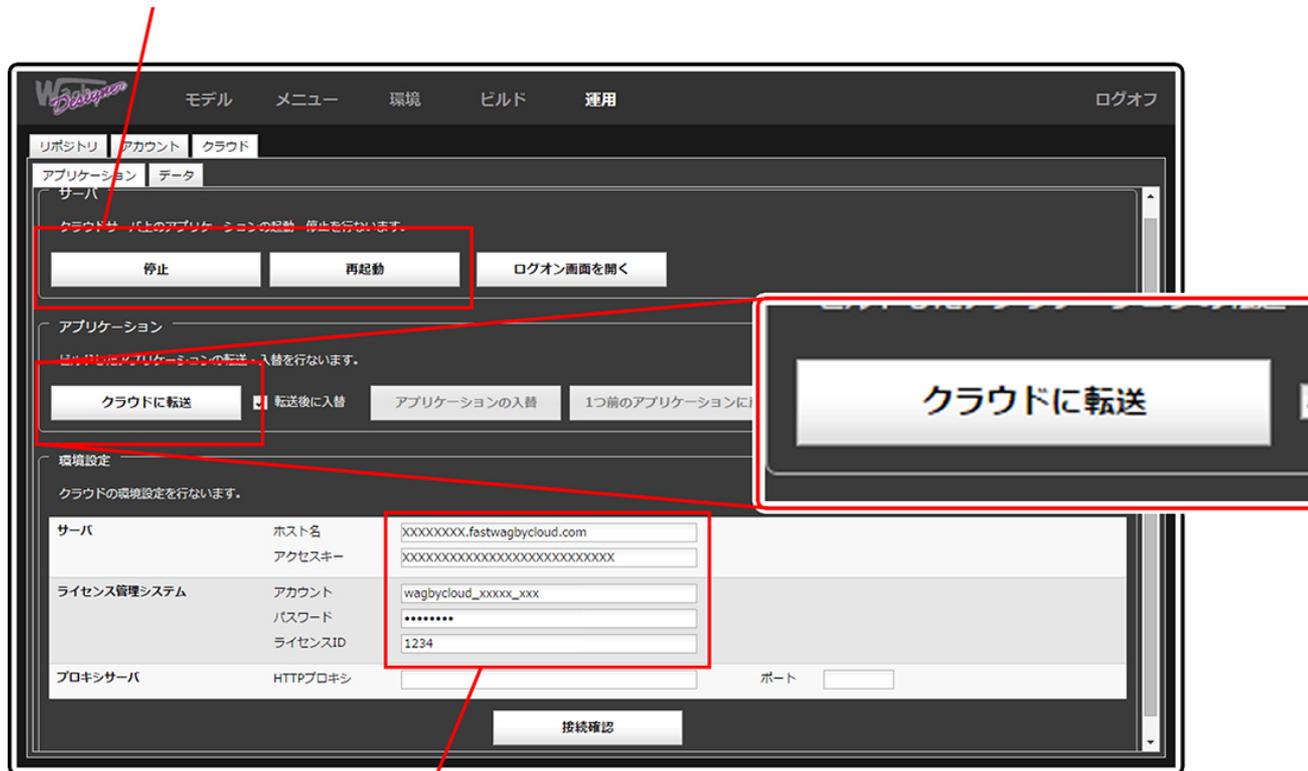
## ② ビルド実行

実行可能なJavaソースコードに変換  
されます。

# Wagbyクラウド利用イメージ 2/4

③ ビルドが終わったら『クラウドに転送』ボタンをクリックするだけです。

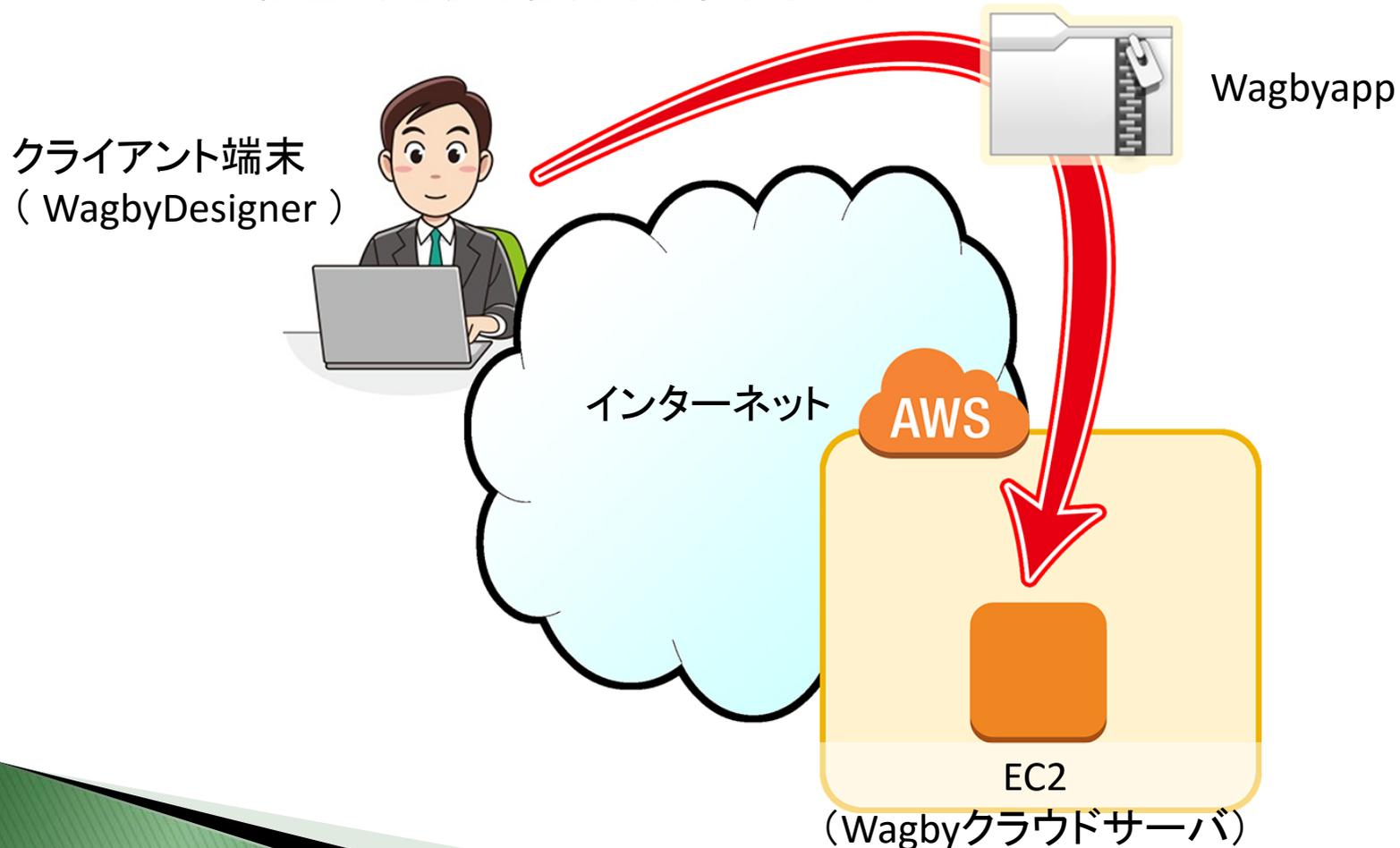
※Wagbyクラウドサーバ上にあるアプリケーションの起動・停止も可能



※転送先とライセンスキーの情報を入力

# Wagbyクラウド利用イメージ 3/4

- ④あとは自動的にビルドしたWagbyアプリケーション(wagbyapp)をWagbyクラウドサーバへ転送し、必要な設定も行われます。

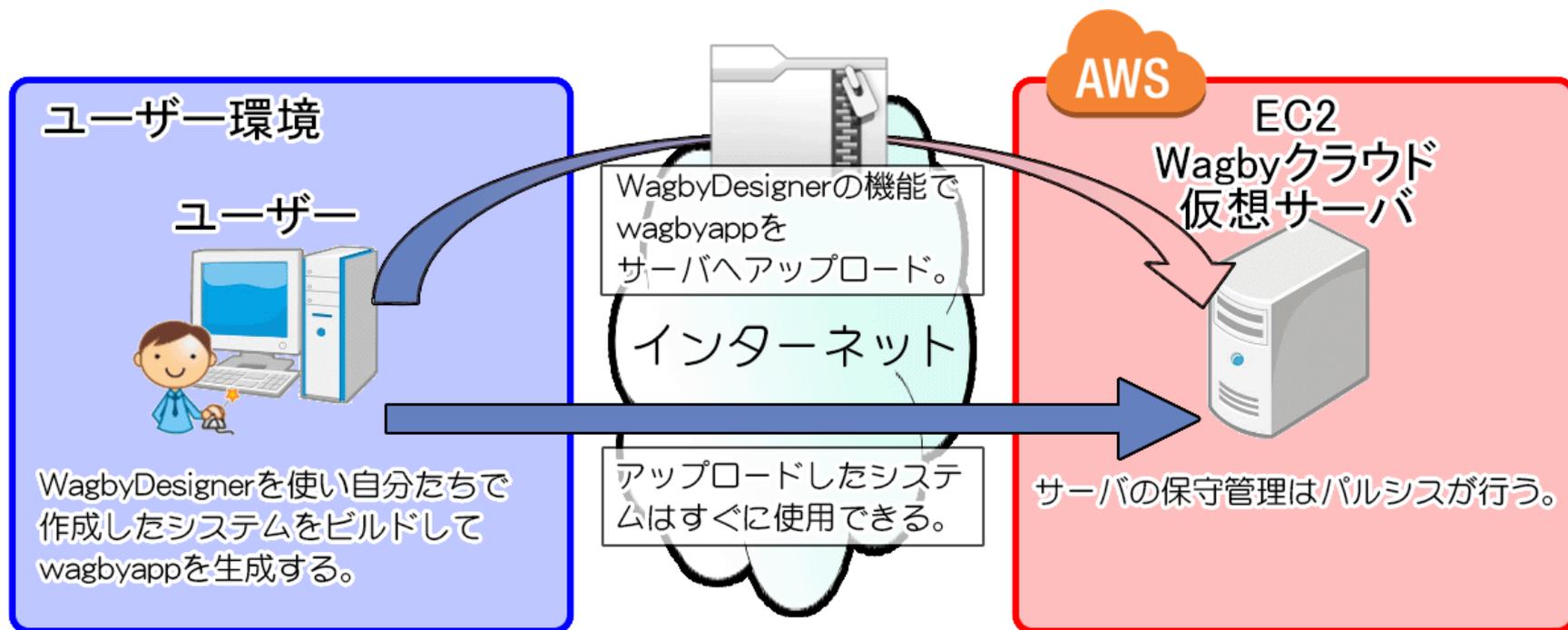


# Wagbyクラウド利用イメージ 4/4

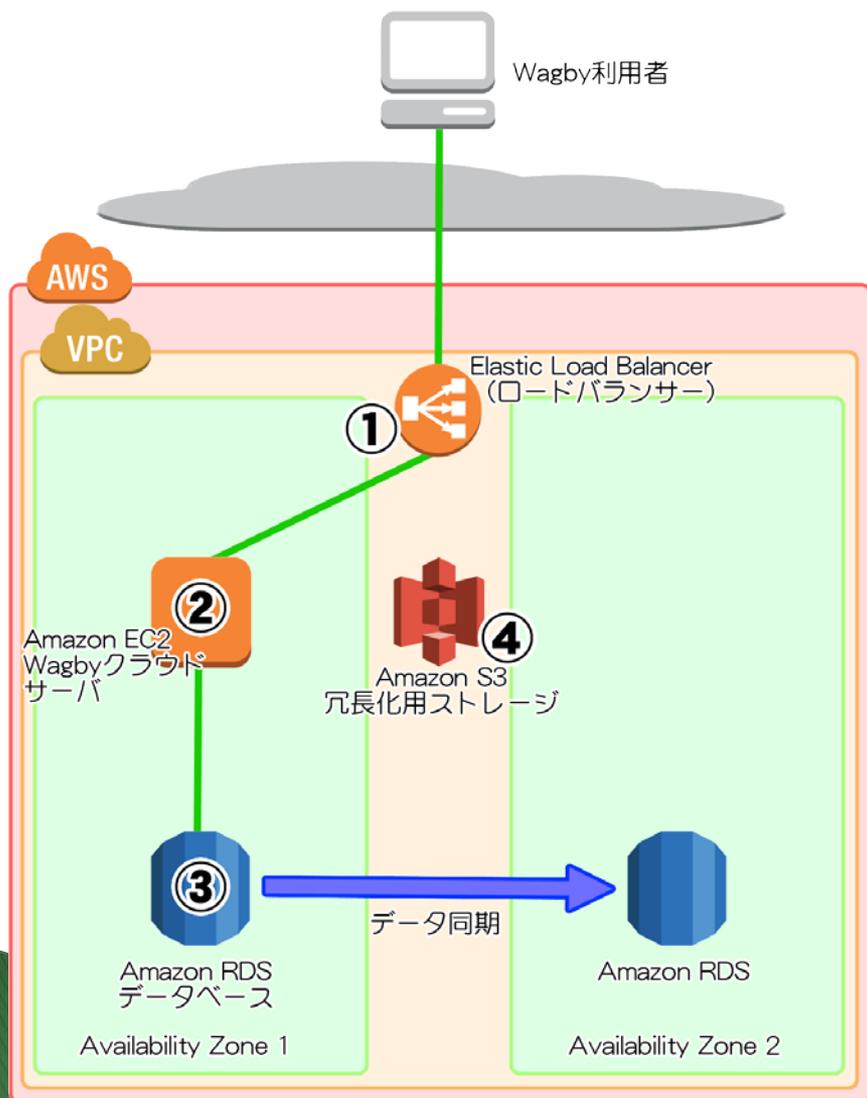
- ⑤ クラウド転送完了後はブラウザからご指定のURLへ接続すればすぐにご使用頂けます。



# AWS環境構成イメージ



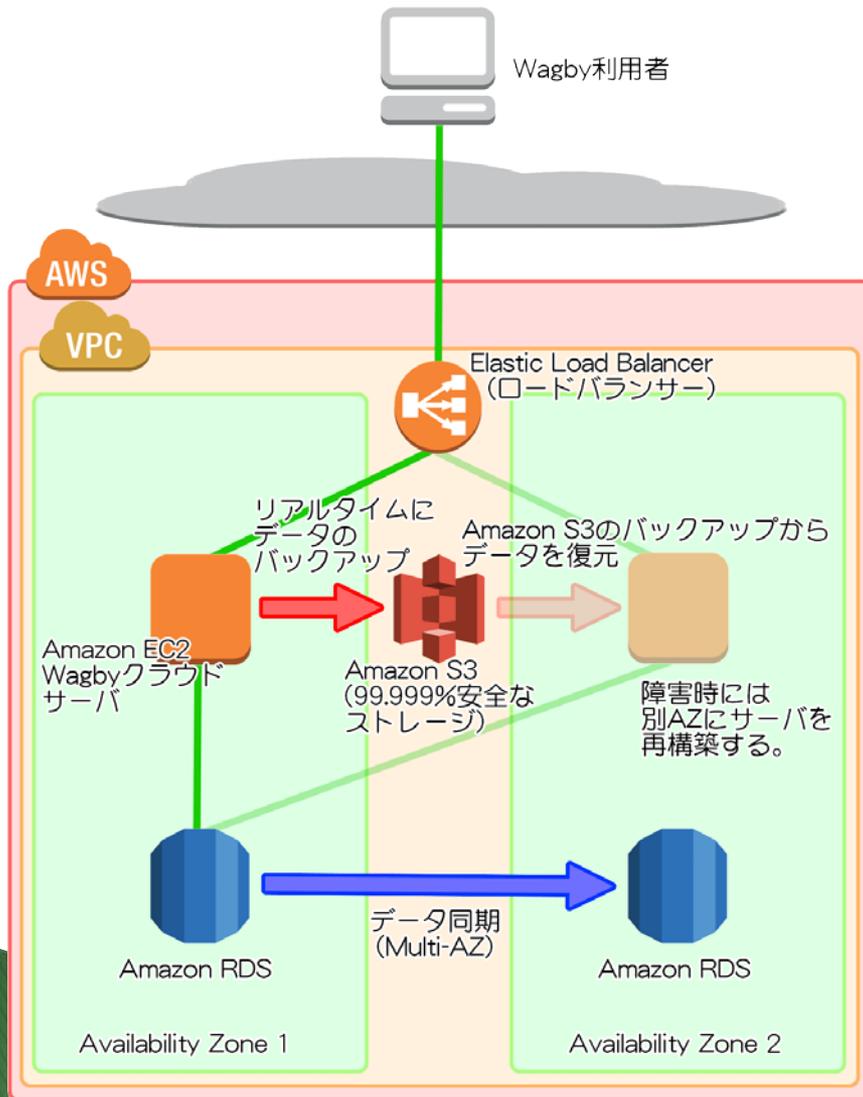
# WagbyクラウドのAWS基本構成



- ① **Elastic Load Balancer (ロードバランサー)**  
Wagbyクラウドサーバの通信をアクセス制御します。  
Wagbyクラウドサーバの障害を検知するとサーバを再作成します。
- ② **Amazon EC2 (Wagbyクラウドサーバ)**  
Wagby DesignerでビルドしたWagbyアプリケーションをアップロードして実行する環境です。
- ③ **Amazon RDS (Wagby用データベース)**  
Wagbyアプリケーションで利用されるデータベースです。
- ④ **Amazon S3 (Wagbyクラウドデータ冗長ストレージ)**  
Wagbyクラウドサーバに格納されたデータを冗長保存します。Wagbyクラウドサーバを再作成の際にはこのストレージからデータを復元します。

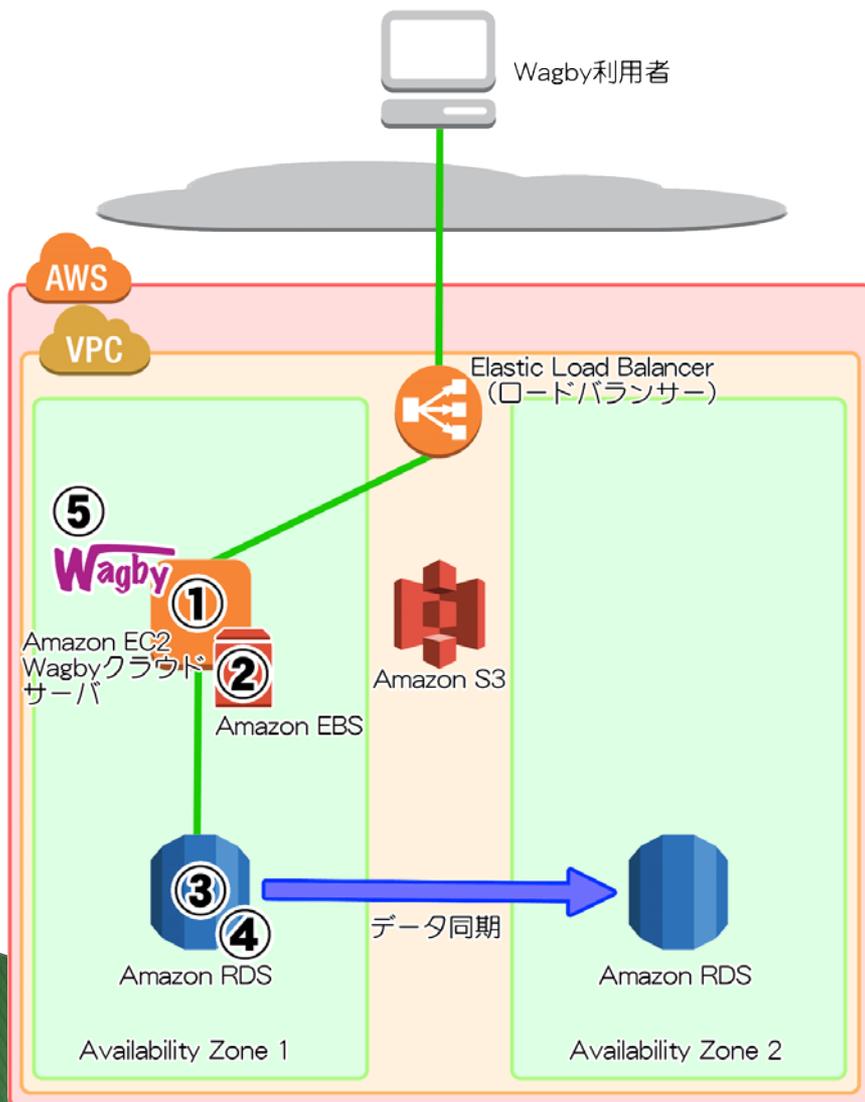
※ Wagbyクラウド on AWSはAWSの東京リージョンにて稼働します。

# Wagbyクラウドの可用性



- ▶ Wagbyクラウドサーバでデータ更新が行われると安全性の高いAmazon S3に更新データが冗長保存されます。
- ▶ 障害によりWagbyクラウドサーバの停止を検知すると自動的に別Availability Zone(別データセンター)にWagbyクラウドサーバを再作成します。データの復元は Amazon S3の保存データを利用します。
- ▶ データベース(Amazon RDS)は複数のデータセンターに配置され、データ更新の内容はレプリケーションされるので、データは冗長保存されます。
- ▶ データベースのスナップショットは1日1回取得され30日分保持されます。スナップショットからデータを復元することもできます。(有償作業となります)

# Wagbyクラウド基本構成要素



- ① Wagbyクラウドサーバ(Amazon EC2)  
【標準設定】t2.small インスタンス
  - ② Wagbyクラウドサーバのデータ領域(Amazon EBS)  
【標準設定】20GB
  - ③ WagbyクラウドのDBサーバ(Amazon RDS)  
MySQL、PostgreSQLのどちらかを選択  
【標準設定】db.t2.micro インスタンス (Multi-AZ)
  - ④ Wagby用データベースのデータ領域  
【標準設定】20GB
  - ⑤ Wagbyログオンアカウント数  
【標準設定】5ログオンアカウント(最低数)
- その他費用  
(Elastic Load Balancer、Amazon S3使用料、  
通信費、SSL証明書費用等)

基本月額使用料合計

32,500円(税別)

# Wagbyクラウド拡張要素 1/3

Wagbyクラウドサーバ基本構成要素は、用途や規模により拡張可能です。  
各構成要素の拡張価格は、基本月額使用料の価格に追加されます。

## ①.Wagbyクラウドサーバのインスタンスタイプ

Wagbyクラウドサーバが搭載されているAmazon EC2のスペックを拡張することができます。

拠点数や接続ユーザ数に合わせてインスタンスタイプのランクを上げていきます。

以下の金額は、低価格のインスタンス価格になります。それ以上高いスペックのインスタンスの価格については、別途ご提示致します。

インスタンスタイプ	vCPU	ECU※	メモリ(GB)	追加月額(税別)
t2.small(標準)	1	可変	2	-
t2.medium	2	可変	4	5,000円
m3.medium	1	3	3.75	7,000円
m3.large	2	6.5	7.5	19,000円

## ②.Wagbyクラウドサーバのデータ領域の拡張

Wagbyクラウドサーバでのインポート/エクスポートのデータ保存領域の拡張が可能です。(標準 20GB利用可能)

追加月額(税別)

200円/10GB

# Wagbyクラウド拡張要素 2/3

## ③.WagbyクラウドのDBサーバのインスタンスタイプ

Wagbyアプリケーションで格納されるデータ量やDBアクセス数によりインスタンスタイプの拡張が可能です。

Wagby用データベースはMySQL、PostgreSQLの2種類が利用可能で、同じインスタンスタイプでも価格が異なります。

以下の金額は、低価格のインスタンス価格になります。それ以上高いスペックのインスタンスの価格については、別途ご提示致します。

### MySQL

インスタンスタイプ	vCPU	ECU※	メモリ(GB)	追加月額(税別)
db.t2.micro(標準)	1	1	1	-
db.t2.small	1	1	2	6,000円
db.t2.medium	2	2	4	18,000円
db.m3.medium	1	3	3.75	22,000円

### PostgreSQL

インスタンスタイプ	vCPU	ECU※	メモリ(GB)	追加月額(税別)
db.t2.micro(標準)	1	1	1	-
db.t2.small	1	1	2	7,000円
db.t2.medium	2	2	4	20,000円
db.m3.medium	1	3	3.75	22,000円

# Wagbyクラウド拡張要素 3/3

## ④.WagbyクラウドのDBサーバのデータ領域の拡張

WagbyクラウドのDBサーバへのデータ格納量によりデータ保存領域の拡張が可能です。(標準 20GB利用可能)

追加月額(税別)

400円/10GB

## ⑤.Wagbyログオンアカウントの追加

追加月額(税別)

500円/1アカウント

※ ECU・・・ EC2 Compute Unitとは、1vCPU当たりのパフォーマンスを示す。

# Wagbyアプリケーション開発環境

PC



対応OS

- Windows Vista/7/8/8.1/10
- Mac OS X
- Linux

対応ブラウザ

- Google Chrome

- ▶ WagbyアプリケーションはWagby Designerを使用して開発します。
- ▶ Wagby DesignerはGoogle Chromeのみ対応しています。
- ▶ Wagbyクラウド on AWSのWagbyクラウドサーバへのアプリケーションのリリースや、サービスの起動/停止の操作は、WagbyDesignerを利用します。
- ▶ Wagbyアプリケーションの開発には固定のグローバルIP（範囲指定可能）が必要になります。
- ▶ Wagby Designerはモバイル端末では利用できません。

# Wagbyアプリケーション利用環境

PC※



対応ブラウザ

- Google Chrome
- Microsoft Internet Explorer 9/10/11
- Microsoft Edge
- Mozilla Firefox
- Apple Safari

スマートフォン



対応ブラウザ

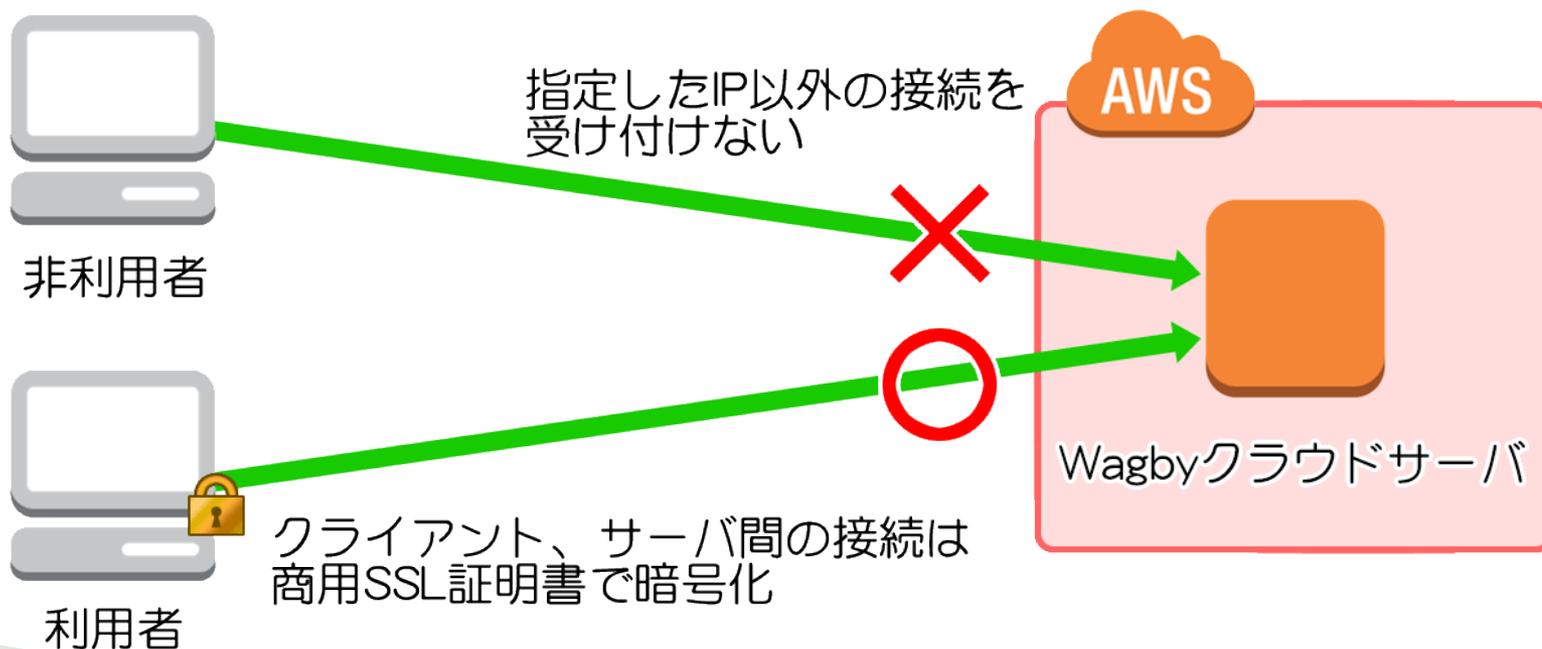
- iOS 6以上のiPhone/iPod touch/iPad
- Android OS 3以上のAndroidスマートフォン
- 各標準Webブラウザ

- ▶ Wagbyアプリケーションの利用には固定のグローバルIP（範囲指定可能）が必要になります。
- ▶ Wagbyアプリケーションはスマートフォンなどモバイル端末でも利用できます。

※対応OSはWindows Vista/7/8/8.1/10/Mac OS X/Linux

# Wagbyクラウド on AWSのセキュリティ対策

- ▶ クライアントとWagbyクラウドサーバ間の通信は、公的機関によって署名された商用SSL証明書により暗号化されています。
- ▶ Wagbyクラウドサーバのファイアウォールは特定のIP以外アクセスできないようになっています。また接続できるポートもhttps (443)ポートのみです。



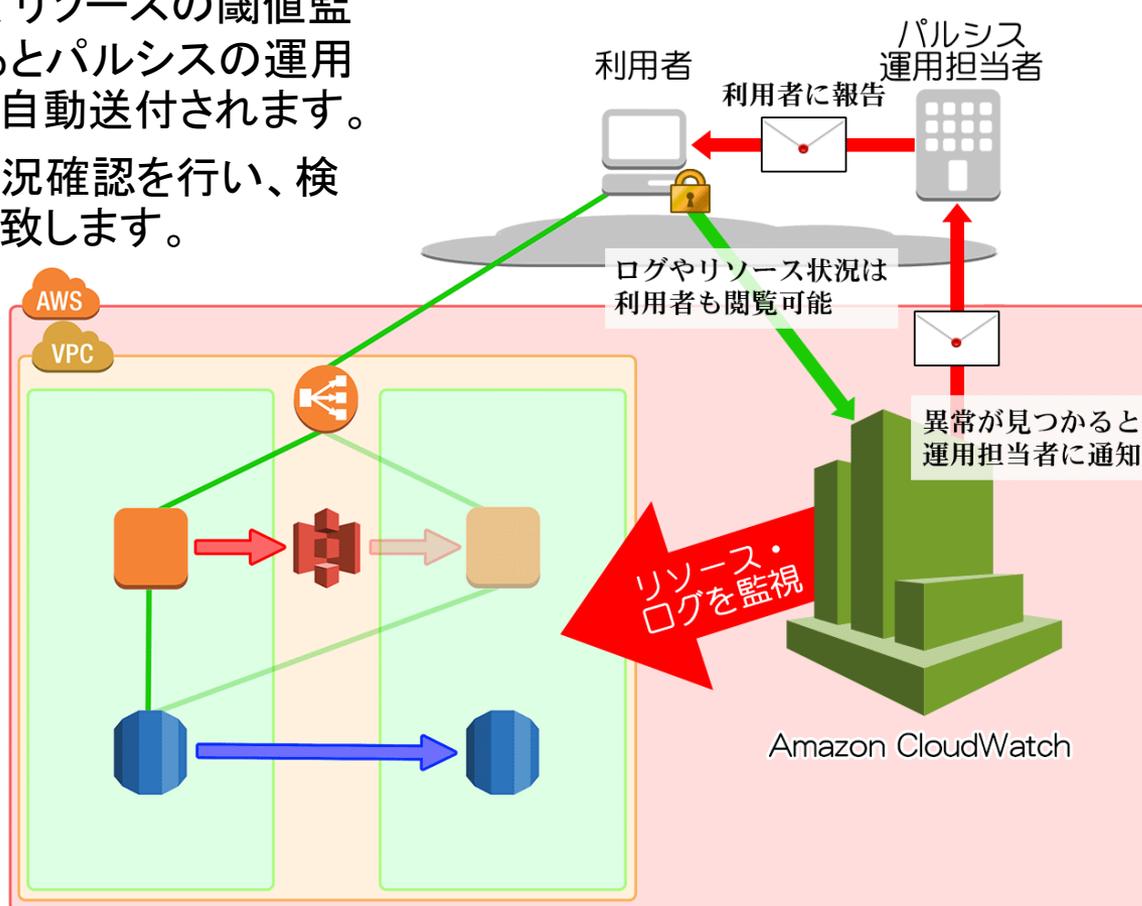
# AWSのインフラストラクチャー

- ▶ AWSクラウド環境は、様々な基準や規制に準拠しています。インフラストラクチャーの保護を証明するために、サードパーティによる監査レポートについて公開も行っています。  
詳細については、<https://aws.amazon.com/compliance>を参照してください。
- ▶ ビデオ監視カメラ、最新鋭の侵入検出システム、その他エレクトロニクスを使った手段を用いて専門のセキュリティスタッフが、物理的アクセスを厳密に管理しています。
- ▶ 全データセンター環境、機械的及び電氣的インフラストラクチャースペース、冷却室および発電機設備室において、自動火災検出および鎮火装置が取り付けられ、充水型、二重連結予作動式、またはガス式スプリンクラーシステムによって守られています。
- ▶ データセンターの電力システムは、完全に冗長性をもち、運用に影響を与えることなく管理が可能となっています。1日24時間体制で、年中無休で稼動しています。施設内で重要かつ不可欠な負荷に対応するために、電力障害時には無停電電源装置(UPS)がバックアップ電力を供給しています。データセンターは、発電機を使用して施設全体のバックアップ電力を供給しています。

AWSのインフラストラクチャー詳細につきましては以下をご参照下さい。  
<https://aws.amazon.com/jp/whitepapers/overview-of-security-processes/>

# システムの監視

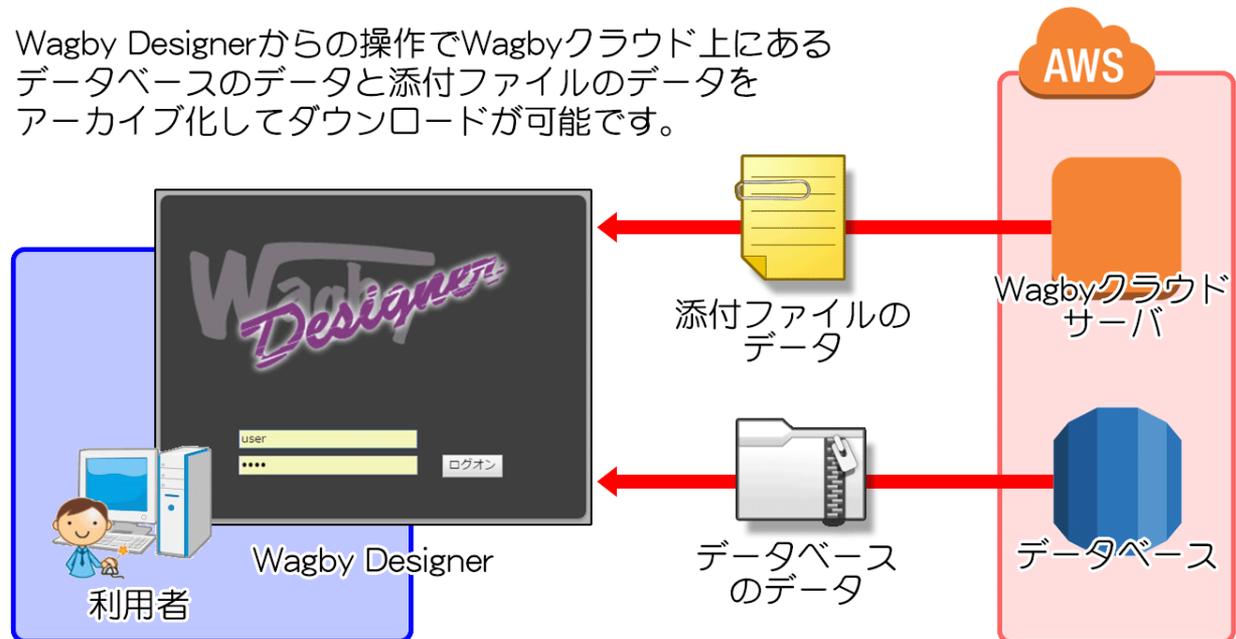
- ▶ Wagbyクラウド on AWSではAWSのCloudWatch機能を使用して24時間365日Wagbyクラウド環境の監視を行っています。
- ▶ ログのキーワード監視や、リソースの閾値監視により、異常を検知するとパルシスの運用担当者宛に検知メールが自動送付されます。
- ▶ 運用担当者はシステム状況確認を行い、検知内容をお客様にご連絡致します。
- ▶ 監視内容はサーバのCPU使用率や不正アクセスログ (http400系メッセージ) などです。
- ▶ お客様にご提供するAWSアクセス用のアカウントをご利用することで、監視対象のログやリソース状況を確認することも可能です。



# Wagbyデータの取得

- ▶ Wagbyクラウド on AWSではAWSの機能を使用してデータの冗長化をしていますが、ユーザー自身でWagbyクラウド上のデータを取得することも可能です。
- ▶ WagbyのデータにはデータベースのデータとWagbyアプリケーションでデータ登録した際に添付した添付ファイル群の二種類が存在します。
- ▶ Wagby Designerにはこれら二種類のデータをサーバ上でアーカイブ化してダウンロードする機能があるので、Wagbyクラウド上のデータを自由にクライアント側へ複製することができます。
- ▶ これら二種類のデータをクライアント側にバックアップしておけば、ユーザー自らWagbyクラウドのデータを復元することも可能です。

Wagby Designerからの操作でWagbyクラウド上にあるデータベースのデータと添付ファイルのデータをアーカイブ化してダウンロードが可能です。



# Wagbyクラウド on AWS サービス利用までの流れ

お問い合わせ

ヒアリング  
ご契約

お客様環境  
をご準備

サービス  
ご利用開始

最短3営業日

お客様用環境作成に向けてヒアリングをさせていただきます。

- ・ご希望があればデモ環境をご用意できます。
- ・マニュアル類も事前にお渡しできます。

ヒアリング内容を基にお客様用環境をご準備致します。  
環境準備に3日程度お時間を頂戴致します。

# Wagbyクラウドの契約補足

- ▶ 最低契約期間は6か月から。
- ▶ 2015年7月1日時点の料金を記載しております。料金は予告なく変更される場合がございます。
- ▶ 1か月のご契約金額が100,000円未満の場合、年間一括払いとなります。この場合、最低契約期間以降であればいつでも解約可能ですが、ご返金は1か月単位での精算となり1か月に満たない場合は切捨てとなります。
- ▶ 解約のお申し出は、解約月の前々月末日までとなります。  
例) 2015年12月10日解約希望の場合、2015年10月31日までにお申し出ください。
- ▶ ユーザー起因以外の障害に際し、連続で24時間以上稼働が停止した場合、24時間毎に1,000円返金するものとします。ただし、自然災害による障害の場合は対象外と致します。

# Wagbyクラウド保守・サービス時間

## ▶ 保守

- Wagbyクラウド on AWS へのお問合せは、電子メール/電話にて承ります。
- メールでのお問合せ24時間受付。
- 電話受付は、土日、祝祭日、年末年始を除く10:00～12:00、13:00～17:00となります。
- 問い合わせ内容により回答に要する時間は異なります。
- 問い合わせへの初期応答は、最長2営業日以内とさせていただきます。

✉ helpwcoa@palsys.co.jp

☎ 03-5949-4911 (代表) Wagbyクラウド on AWSサポート宛て

## ▶ Wagbyクラウド on AWS サービス提供時間

- Wagbyクラウド on AWS のサービス提供は、24時間 365日です。
- メンテナンスなどで停止が必要な場合はお客様へ事前にご連絡致します。

## Wagbyクラウド on AWS

についてのお申込み、お問合せは下記までお願い致します。

株式会社パルシス

営業部

〒171-0033

東京都豊島区高田3-28-2

FORECAST高田馬場 3F

TEL: 03-5949-4911

FAX: 03-5949-4912

URL: <http://www.palsys.jp/>



※ Wagby、ワグビーは株式会社ジャスミンソフトの登録商標です。

※ Amazon Web Services、AWS、Amazon EC2、EC2、Amazon RDS、Elastic Load Balancer、Amazon VPC、Amazon EBS、Amazon S3 および Amazon Web Services ロゴは、Amazon.com,inc. またはその関連会社の商標です。